

平成19年度 小田こども文化センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	小田こども文化センターの管理運営に関すること 新町小学校・東小田小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。 ②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	各事業の担当職員が利用者からの聞き取り調査を日常的に実施し、利用者の意見をもとに行事を企画した。わくわくプラザにおいては、定期的にこども会議を開催し、こども主体の行事を行った。プラザ室とこども文化センターの入り口に「ご意見箱」を設置し、意見を収集した。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。「ご意見箱」の活用等により積極的にニーズの把握に努めていたことは評価できる。
サービスの提供に関すること	こども達の意見をもとに、館内に音楽をかけるなど、明るく利用しやすい雰囲気作りを心掛けた。また、施設のリーフレットを作成し、新規の利用者へPR活動を行った。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。また、新規利用者へのPR活動を積極的に行っていたことは評価できる。
事業の実施に関すること	小学生向けの料理教室や工作教室、乳幼児向けのイベントを毎月開催し、定着した行事となった。流しそうめん、もちつき大会は老人いこいの家と合同で行った。秋には地域の方々にご協力いただき、宿泊行事を開催した。わくわくプラザでは、地域講師にご協力いただく行事を多数開催した。	いこいの家との合同行事や地域住民の協力により様々な行事を実施していることは評価できる。今後も、ボランティアの活用を努めること。

個人情報の取扱に関すること	申込書等の書類は鍵のかかる場所に保管。不要になった書類はシュレッダーで処理。利用者には、個人情報を目的外では使用しないことを掲示等でお知らせした。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関すること	日常的に施設内の点検と整備を行った。学校や地域と連携をはかり、不審者等の情報交換を行った。こども文化センター、わくわくプラザともに、定期的に避難訓練を行った。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、学校や地域と連携を図った安全管理に努めている。
(2) 利用状況		
①こども文化センター	延べ利用者数 28,020人 延べ団体利用数 1,342団体 (主な行事等) オセロ大会 もちつき大会  (特色のある行事) 自然と遊ぼう！田舎に泊ろう！！	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 新町小学校わくわくプラザ 登録者数 108人 延べ利用者数 8,637人 (主な行事等) 公園遊び 兜取りゲーム  (特色のある行事) スポーツチャンバラ  2 東小田小学校わくわくプラザ 登録者数 103人 延べ利用者数 10,316人 (主な行事等) 本の読み聞かせ ドッジボール大会  (特色のある行事) お月見団子作り	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>43,605,331</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>36,458,142</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>2,753,864</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>44,171,840</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>▲ 566,509</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	43,605,331	支出	人件費	36,458,142		管理費	2,753,864		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	44,171,840		差引	▲ 566,509	<p>単館では支出が上回ったが、55館全体での指定管理料内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	43,605,331																														
支出	人件費	36,458,142																														
	管理費	2,753,864																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	44,171,840																														
	差引	▲ 566,509																														

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。